



OECD東北スクールについて

福島・宮城・岩手の被災地の被災した中学生・高校生を地域復興の担い手として育てる長期的プロジェクト

福島大学が主催し、文部科学省・OECDが協力、外務省、県教育委員会、地方教育委員会が後援。

プロジェクトのゴールは「2014年8月にパリから世界へ東北の魅力を発信するイベントを行う」そのためのプロジェクト学習。

リーダーシップ、企画力、創造力、建設的批判思考力、実行力、交渉力、協調性、国際性などを身につけ、地域の復興のみならず、東北全体、さらには日本全体を育てる人材を養成。

参加者の状況

福島・宮城・岩手の三県から12チーム約100名の被災した中高生が参加

参加者はチームを作り、引率者(ローカルリーダー)の指導を受ける

春・夏に全員参加の集中スクールを実施

地域に戻り、地域復興のプロジェクトを生徒の視点から考える。

東京・奈良にエンパワーメントパートナー(応援団)高校生

OECD東北スクール参加市町村
(平成24年12月現在)

東北スクールの運営組織

ハイレベル円卓会議(文部科学省、外務省、OECD日本政府代表部、福島大学)

アドバイザーボード(行政、教育、企業、学識経験者からなる顧問団)

運営事務局

ローカルリーダー(引率者)

生徒組織

エンパワーメントパートナー

メンターグループ





広がるネットワーク！

- 9月以来、企業 (Yahoo Japan、電通、テレビマンユニオンなどからプロボノ)、地方自治体、パリ市などと協力関係を結ぶ。
- 月1回のローカルリーダー会議、生徒リーダー会議
- SkypeやFacebookを活用して、遠隔地間でコミュニケーション、情報共有。





ユニクロ・ファーストリテイリング本社にてプレゼン



Clothes for Smilesに応募、739アイデア中4位！



http://www2.educ.fukushima-u.ac.jp/~miura/oecd_tohoku_school/index.html

オフィシャルホームページ開設



→OECD教育局長のアンドレアス・シュライヒャー氏が伊達チームと懇談を行いました。生徒達が「Aと一緒に開発したゼリーを手にして、「マーケットを調べて、必ず成功させるように」とお言葉をいただきました。

←学長を表敬訪問するシュライヒャー氏。会津塗の記念品が手渡されました。夕方から「復興教育とイノベーション」のテーマでご講演をいただき、夜は福島県の教育について語り合いました。

第3回OECD東北スクールの開催

- 日時: 平成25年3月26日19:00 ~ 29日10:00
- 場所: 宮城県気仙沼市「ホテル観洋」
- 内容
 - 東北を世界にアピールするためのイベントづくり
 - 東北の歴史・産業を調べ発表
 - 4つの担当に分かれてタスク管理
 - 大人のためのワークショップ
 - 被災地のオプションツアー、など